

オランダからレインが来ました

レインは最初ほとんど日本語が話せませんでしたが、学校でたくさんの友達を作り、帰国前には英語で話しかけると怒るくらい上手になっていました。薔薇や麒麟という漢字まで練習したレイン。ストッキングは毎回洗濯しないし、帰宅後手を洗わない、スーパーで買った野菜は洗わずに調理するなど、驚くこともありましたが、男女平等、ドラッグもお酒も合法という自由な国から来たレインと話すのは楽しい時間でした。留学生が来ることで、私は改めて日本独自の習慣に気づき、四季の美しさと一緒に楽しみました。下の娘もレインと過ごして、留学すると決めました。ホストファミリーを引き受けたことで、受け入れる家族も世界が広がった気がします。(MI)



スペインから来たラケル

子供達にとって少し歳の離れた優しいお姉さんとして我が家の一員になるのに、そう時間はかかりませんでした。我が家での滞在は3ヵ月という限られた期間で、地域での交流や日常生活の中で様々な思い出を残してくれました。言葉や文化の違いで戸惑うことや大変なこともありましたが、ラケルの留学を通じて、ホストファミリーとして異文化交流ができ、スペインという国が身近で特別な国になりました。慣れない環境の中で、何事にも前向きにチャレンジしていく留学生の姿は家族にも様々な刺激を与えてくれました。感動のお別れから既に半年近くが過ぎようとしています。来年夏に再会の予定？楽しみにしています。(TO)



親戚が増えた!!



7年前にカナダ人の男の子を一年間預かりました。とても話し好きな子で、家では会話が途切れる事がないくらい賑やかで、とても楽しい一年でした。今年の夏やっと念願叶って夫と2人彼の実家へ遊びに行ってきた。家族はフランス語しか話せないのですが、ホスト息子の完璧な通訳のお陰で私も夫も両親とすっかり仲良くなりました。7人乗りのレンタカーを借りてケベック州のあちこちを案内して下さったり、自慢の手料理を振舞って下さったり、毎晩お酒を飲んで

では話も尽きず、何年も前からの友人のように、本当に素晴らしい10日間を過ごす事が出来ました。今ではカナダに息子がいる!!と言うより、カナダに親戚がいるという感覚です。今年の10月に彼は結婚しました。孫が出来たらまた会いに行かなくちゃ!!と思っています。これもAFSならではの絆と感謝しています。(SS)



大きな成長を目の当たりに

フロリダからやってきたアニメ好きで、マイペースなニコルと過ごした11ヵ月は一生忘れられません。当初、日本語は殆ど出来ませんでしたが、水戸へのショートステイや、24年前アメリカで銃で撃たれて亡くなった AFS 留学生服部剛丈君の母校旭丘高校でのディスカッション等を経る度に、目覚しく日本語が上達していきました。服部君事件の DVD



を観て、涙を流しながら彼の命を無駄にしてはいけないう銃規制について深く考え、『格好いい』と思っていた銃を警官でさえも持つべきではない。き

っとできる、と言葉にした彼女を見て、大きな成長を感じました。現在フロリダで大学一年生のニコル。彼女の更なる成長と、いつか再会できる日を楽しみにしています。

(HN)



特別な「普通の生活」

ホストファミリーを引き受ける際に、「無理をしない」「できることをする」という二点を家族で決めました。特別なことをする気負いはなく、同時期に派遣生の娘がいたら一緒にやったであろうことをプラウと一緒にしてきました。弓道部中心の生活を送っていたプラウにとって、家は日々の緊張をリセットする場所でした。家にいるときは、自室で寝ているか(よく寝ること!)スマホでビデオを見ていることが大半でしたが、我が家でよく目にする娘達の日常だったと思います。家族の一員としてお互いのリズムを守ったことでストレスなく穏やかに過ごせ、今でもふとした拍子にプラウが今はいないことを実感します。(TU)



カイクロップンとの284日

シャイで笑顔が印象的なドイツ人のカイ。ドイツ人といっても生まれも育ちもスペインのイビサ島。遠く離れた国で暮らしたい!と意気込んでやってきました。

ホストスクールは県立伊志田高校。電車の乗換も2回、1時間半の通学も最初はトラブル続き。間違っ江の島行きに乗ったり、パスモを忘れたり、携帯を電車に忘れたり。叱ることもたくさんありましたが「手のかかる子ほどかわいい」ものです。カイはバスケ部に入りました。初心者でしたがチームから温かく迎えられ、春には新入生が入り「センパイ」になれたことを喜んでいました。日本食も大好きでした。北海道の旭川で食べたラーメン味。食いしん坊のカイは生涯忘れないでしょう。

この夏、ドイツ留学中の息子がイビサ島でカイに再会しました。嬉しそうに家族や地元を紹介してくれたそうです。留学を終え自信をつけたカイの姿は一回り大きく輝いて見えたことでしょう。(HT)

ホストファミリー募集

興味のある方はお気軽にご連絡ください。

食費と寝る場所は無償で提供していただき、医療費、通学費は AFS が、お小遣いは本人が負担します。期間など詳細はご相談を。

お問い合わせ先

(公財)AFS 日本協会北神奈川支部

Phone: 070-1501-4584

E-mail: info-kitakanagawa@afs.or.jp

<http://www.afs.or.jp>